

授業科目

救急統計学

担当教員名 竹井 豊	対象学年	3	対象学科	救急
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	◎

授業の概要

近年、救急救命士による活動をより質の高い、効率的なものとし、救命率の向上を図るために、各地域の救急救命士による救急業務実施体制をデータ化し、統計学的に解析することの重要性が増している。

本科目では、データの統計学的処理・解析を行うための基礎的事項を学習する。さらに救急業務を行う上で必要となる救急活動内容の記録や心肺停止症例のデータ等の確実でわかりやすい記載方法や、表・計算ソフトを用いたデータの統計学的処理など分析方法についても学習する。

授業の目的

本科目では、データの統計学的処理・解析を行うための基礎的事項を理解する。さらに救急業務を行う上で必要となる救急活動内容の記録や心肺停止症例のデータ等の確実でわかりやすい記載方法や、表・計算ソフトを用いたデータの統計学的処理など分析方法についても理解する。

学習目標

1. 心肺停止症例を含む救急活動の記載方法を修得する。
2. 救急統計に必要な基礎的な統計学を修得する。
3. 救急蘇生統計について表・計算ソフトを用いてデータの統計学的処理や分析ができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	救急蘇生記録1 (救急活動記録とウツタイムデータ)	講義・演習	竹井 豊
2	救急蘇生記録2 (データ収集と入力方法)	講義・演習	竹井 豊
3	記述統計学1 (資料の資格化と数値化)	講義・演習	竹井 豊
4	記述統計学2 (平均値、中央値、最頻値)	講義・演習	竹井 豊
5	記述統計学3 (分散と標準偏差)	講義・演習	竹井 豊
6	記述統計学4 (変量の標準化)	講義・演習	竹井 豊
7	記述統計学5 (相関図と2変量の関係)	講義・演習	竹井 豊
8	推測統計学1 (確立と確率変数、確率分布)	講義・演習	竹井 豊
9	推測統計学2 (確率分布 (正規分布))	講義・演習	竹井 豊
10	推測統計学3 (母集団と標本、推定量の自由度)	講義・演習	竹井 豊
11	推測統計学4 (信頼度と信頼区間)	講義・演習	竹井 豊
12	推測統計学5 (帰無仮説と対立仮説)	講義・演習	竹井 豊
13	推測統計学6 (χ^2 検定)	講義・演習	竹井 豊
14	推測統計学7 (パラメトリ検定とノンパラメトリ検定)	講義・演習	竹井 豊
15	多変量解析 (ロジスティック回帰分析)	講義・演習	竹井 豊

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	「統計解析が分かる」	涌井 貞美	技術評論社	2010年		
その他の資料	プリントを配布する。					

評価方法

試験 (70%) およびレポート提出 (30%)

履修上の留意点

授業で指定された内容の予習を行うこと

オフィスアワー・連絡先

授業開始時に担当教員より連絡する。